

平成30年度 佐久長聖高校 学校評価表

学校教育方針	中・長期的目標	今年度の重点目標
1. 礼節を重んじ、忍耐強く、誠実な人材の育成を図る。 2. 一人ひとりの個性を尊重し、授業・クラブ活動・館(寮)生活を 通して、豊かな教養、感性、心身の健康を身につける。	1. 積極的、自主的な態度を養う。 2. 希望進路の実現をめざす。 3. 教職員の指導力を高める。 4. 校外から理解・支援される教育活動を展開する。	1. 生徒の様々な意欲を より高めることのできる 学校づくり ・学習・生活・課外活動・館などすべての分野で、指導方法を模索し、質を高める ・ICTを導入し、活用を広げていく。 ・生徒との前向きな対話のある 生活指導・学級運営を行う。 2. 生徒の安全と安心の確保

評 価	A	十分
	B	概ね十分
	C	やや不十分
	D	不十分
	E	評価できない

評価①：各自の取り組みについての自己評価 評価②：本校全体や各部署についての 本校教職員としての評価

分野	評価項目	評価の観点	評価①	評価②	成果（具体的に何ができたか）	今後やるべきこと、実施に当たっての問題点
学 習 指 導	授業内容の充実	1 授業評価を適宜行い、その内容を踏まえて授業の方法を工夫・改善して、生徒の学ぶ意欲を喚起しているか。				
	教科指導力の向上	2 研究授業のほかに教員相互の授業参観や相互批評をしているか。アクティブラーニングの手法を試みているか。				
		3 各種の模試・検定などの客観的データを教科会や各自で分析し、生徒の学力に応じた授業を行っているか。				
	学習習慣の確立と自主的な学びへの導き	4 (学級担任として) 生徒の学習状況・学習時間を把握し、面接によって個々に即した適切な助言をしているか。				
		5 (教科担当として) 学力や時期に応じて質的・量的に適切な課題を出して、日々の学習や計画的学習を促しているか。				
		6 生徒のタブレットPC利用を促すような 学びの課題や機会を、工夫して提供しているか。				
進 路 指 導	希望進路の実現	7 学級担任・教科担当として3年間を見通した指導をしているか。学年会・教科会がそのために機能しているか。				
	新しい時代を展望できる進路指導	8 社会への視野を広げ、自分の人生の目標を考える機会としてのキャリア教育を、計画し、実施しているか。				
生 活 指 導	自律的生活の育成	9 服装・挨拶など生徒の自律的取り組みを促しているか。モラルや思いやりにつながる、心の指導をしているか。				
	生徒相談といじめの発見・対処	10 担任・学年・部活顧問・館職員・生徒指導係等が連携を取りながら、適切に生徒相談に当たっているか。				
		11 現在の「いじめ」の定義(注)に基づいていじめを認知し、職員間で情報を共有して適切に対応しているか。				
	安心・安全を守る指導、安全を考えさせる指導	12 校内の安全点検や日常の目配りを重視し、事故や危険を防止できているか。				
		13 校外での交通安全や防犯(インターネットによるトラブルの回避も含む)についての指導をしているか。				
開 か れ た 学 校 づ く り	開かれた学校づくり	14 保護者や地域の方の意見・要望をくみとり、必要なことには、すばやく、的確に対応しているか。				
		15 電子媒体や紙媒体を通して、各種の情報を生徒・保護者や一般に向けて、定期的に提供しているか。				
		16 地域の方や校外の団体等と交流できる機会を、生徒に提供しているか。学校として交流に寄与しているか。				

(注) 一定の人的関係がある生徒の中で、一方が他方に心理的・物理的な影響を与える行為をして、対象となった生徒が心身の苦痛を感じていること。一時的なものや謝罪して解決したのも、「いじめであった」と考える。